



赤石

学校のめあて

心豊かで
たくましく
いつも進んで学ぶ子

TEL 25-4450 [http:// www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/](http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/)

「家族でいただきますの日」の設定をお願いします

来週から6月に入りますが、毎年6月は食育月間になっています。あわせて群馬県では、毎月19日を「いただきますの日」とし、「共食（きょうしょく）」をすすめています。家族や友人、地域の人などと一緒に食卓を囲んで食事をすることを「共食」といいます。子供の健やかな心と体を育む上で、「何をどれだけ」食べるかということも大切ですが、同時に「いつ、どこで、誰と、どのように」食事をするかということもとりわけ大切になってきます。普段から家族みんなで食事をしている家庭もあるかと思いますが、ライフスタイルの多様化などによって、家族みんなが集まって食事をする機会が減ってきているといわれています。



そこで、学校からの提案ですが、各家庭で「家族でいただきますの日」を設定していただき、食事の時に学校でのこと、お子さんの将来の夢や希望について親子で話をさせていただきたいと思います。そして、家族みんなで食事をする日を（各家庭の事情によって柔軟に）設定してください。また、できるだけ日常的にこのような機会があるとよいと思います。このことが各家庭でのキャリア教育の推進につながります。

次に親子で話をする際の小学校のキャリア教育について触れることにします。小学校では、入学から卒業までの6年間で、子供たちの発達段階に応じてキャリア教育を進めています。そして、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を学んでいます。小学校の低・中・高学年のキャリア教育の目標は、どのような内容であるのかを紹介いたします。具体例が分かれば、家庭での話題にしやすいと思います。

低学年では、①小学校生活に慣れる。②身の回りの事象への関心を高める。③自分の好きなことを見つけて、伸び伸びと活動する。

中学年では、①友達と協力して活動する中でかかわりを深める。②自分の持ち味を発揮して、役割を自覚する。

高学年では、①自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得する。②集団の中で自己を生かす。③社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。

このように見ていくと、家庭では、単に進学先や職業について話すだけでなく、普段の学校生活の中でお子様が仲間とどう関わり、自己理解を深め、自らの夢や希望についてどのような思いや願いをもっているか聞いていただけるとよいと思います。